

街

より大きくなった私は  
Hな気分になりました

怪獣退治もするけど  
こんな身体にした博士に復讐を♪

R18  
ADULT ONLY

成人向け作品につき  
18歳未満閲覧禁止

怪獣が街に侵入しました  
市民の皆様は訓練通り  
落ち着いて地下シェルターに  
避難して下さい

繰り返します  
怪獣が出没しました  
市民の皆様は——



桜庭技術研究所

あの〜…  
被検体番号4番です  
お呼びでしょうか…

被検体番号4番！  
今すぐ所長室に  
来い！



ト

遅いわあ！

何分経ったと  
思っている！！

桜庭研究所 所長

桜庭 邦彦



超人薬……？

あれって……



博士今日  
機嫌悪いな……



だいたい  
お前はいつも  
いつも……

少しは役に立とうと  
努力をしないか！

すみませ……



“超人薬”  
博士が開発した、人間の  
潜在能力を引き上げる薬

素質のあるものにし  
効果はないが、適応すれば  
炎を自在に操れたり、  
ありえない重量のものを  
持ち上げるなど……

正に超人になれる夢の  
ような薬だ



かつて、初めて怪獣が姿をあらわした時  
自衛隊の兵器は役に立たず……

核の使用が検討され始めた時……





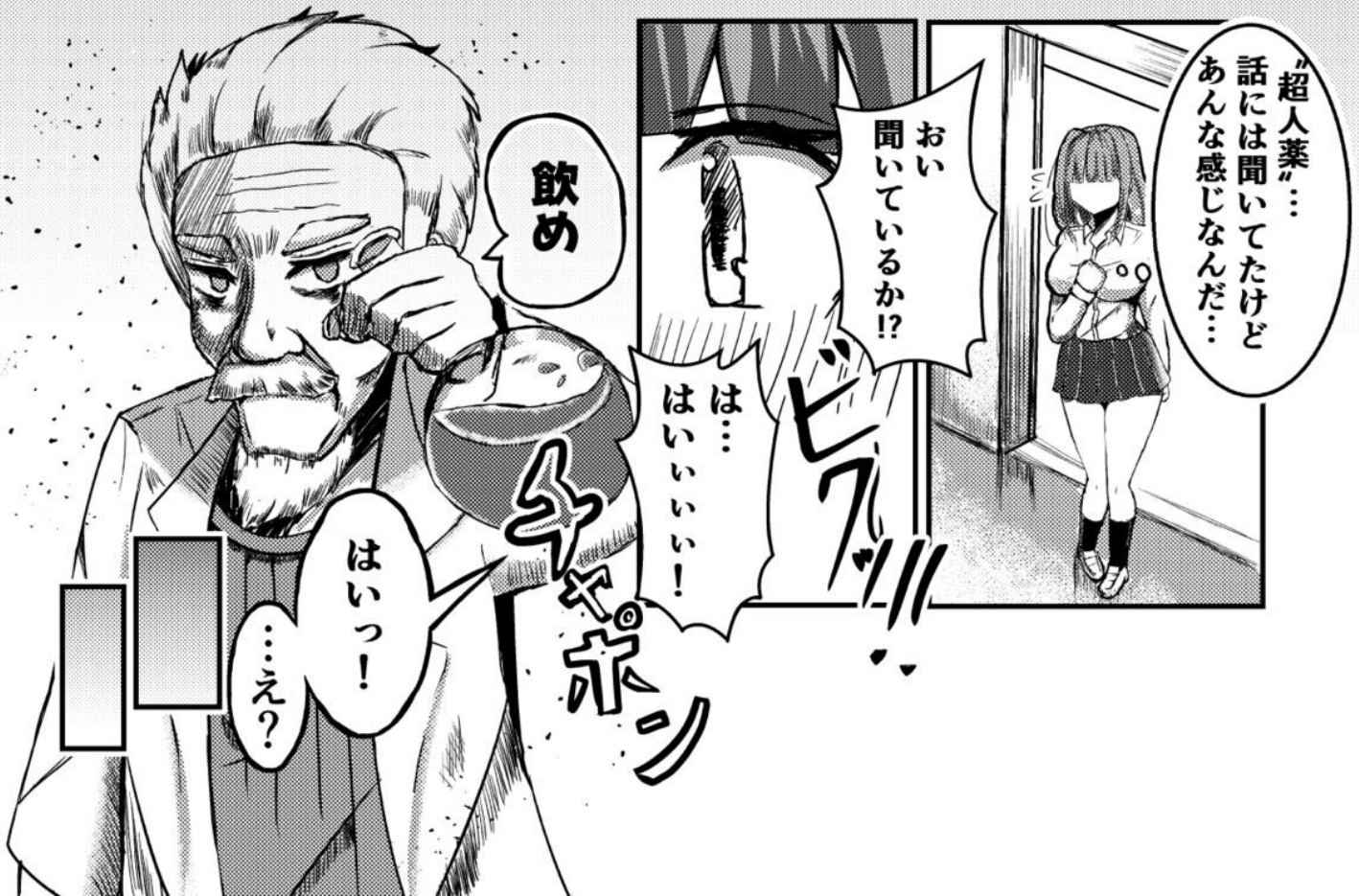
たった1人の  
「超人」により、  
怪獣はあっさり  
倒された



政府による怪獣対策への  
見込みは年間10兆規模。

それに対し、たった1人で  
怪獣に立ち向かえる、  
「超人」の素質を持つ少年少女。

政府は桜庭研究所に怪獣退治  
を委託する他なかった。



飲み

おい  
聞いているか!?

「超人業」：  
話には聞いてたけど  
あんな感じなんだ：

はっ！

…え？

はっ！  
はっ！

ビッ



さで…  
せめて怪獣の足止めくらい  
してほしいが…



博士!!  
本当にシエルターに  
向かわないんですか!?

構わん!!  
被検体のデータを  
取る方が先だ!!



怪獣の上空200mを  
維持しろ!  
近づきすぎるな!

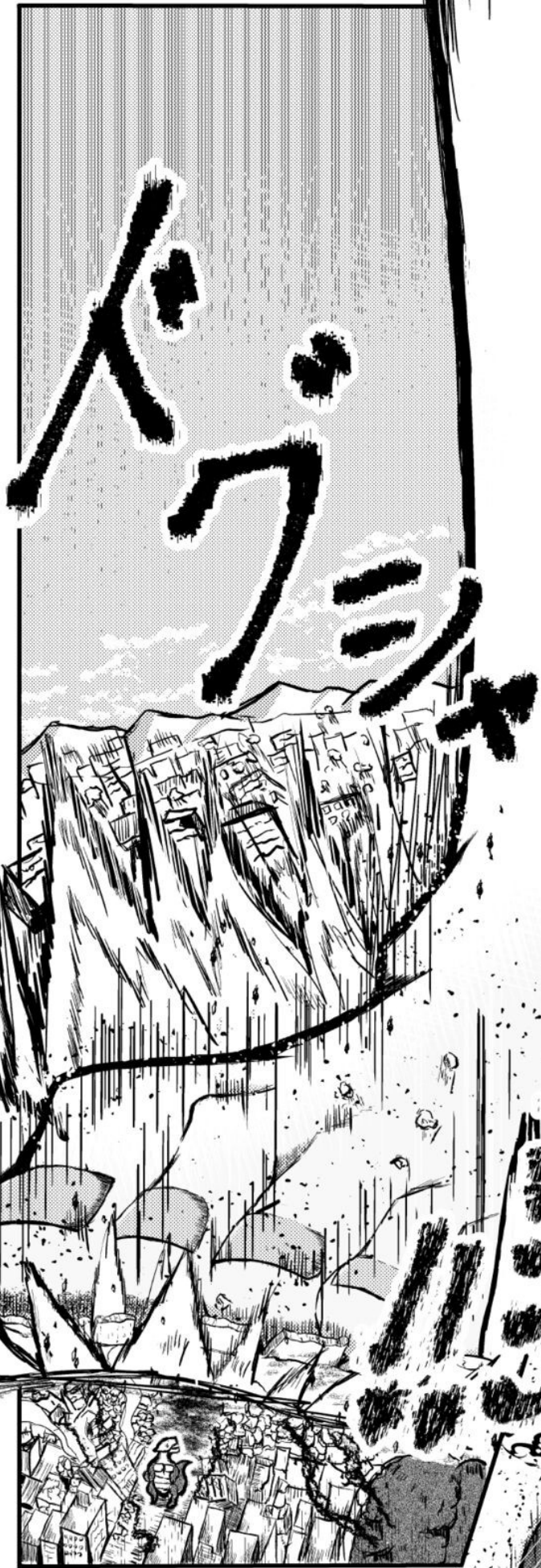
イエス・サー!



まさか怪獣が各地で複数現われるとはな…  
他の被検体共が戻るまでこいつで  
時間を稼ぐしかないが…

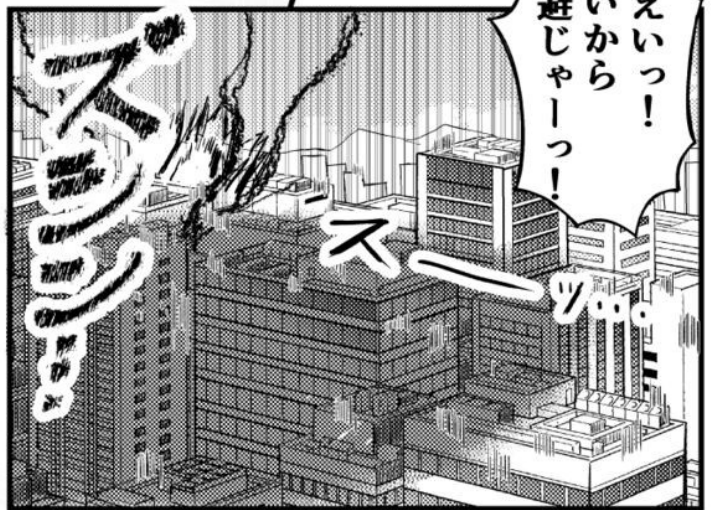
“超人薬”の適正試験も数値が低いこいつにどこまで  
期待できるか…





旋回急げ!!

駄目です!  
間に合いません!



ええいっ!  
いいから  
回避じゃーっ!

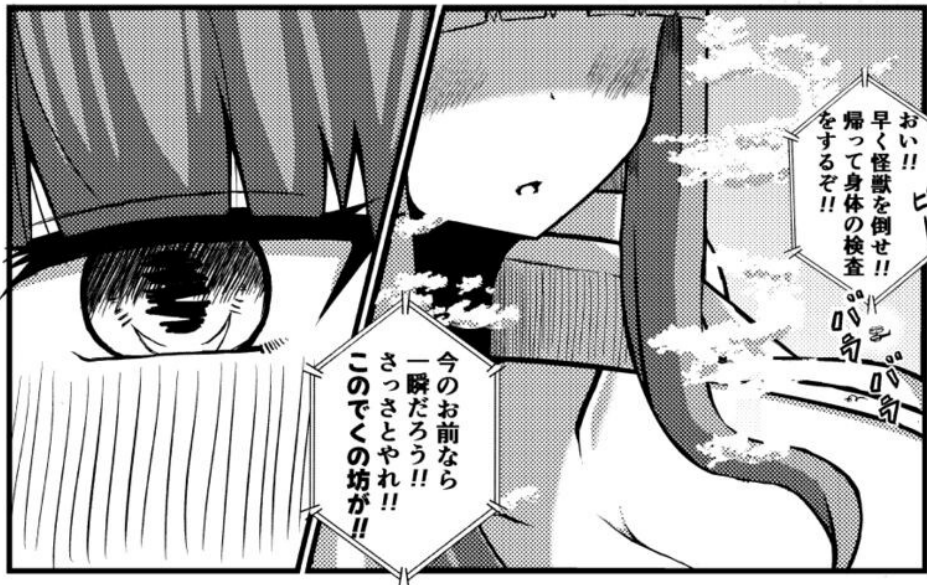


?

コオオオ







あの身体を研究すれば  
更なる発見があるに  
違いない



うるさいなあ…





なので...一つだけ...  
ボタン外しますね

な...何っ!!

はっ!!

ん!!

ど!!

GIG

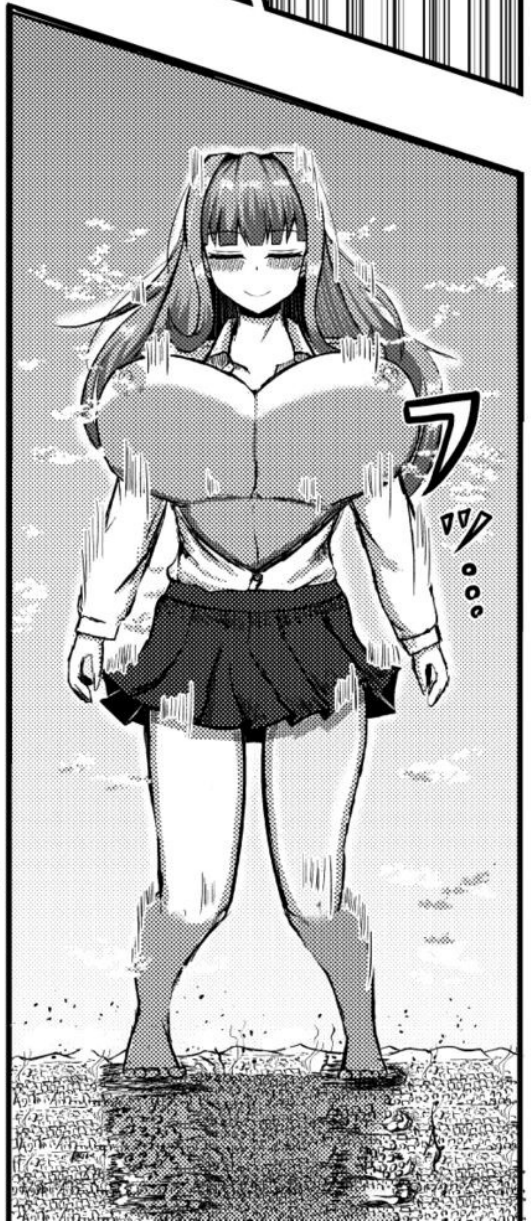
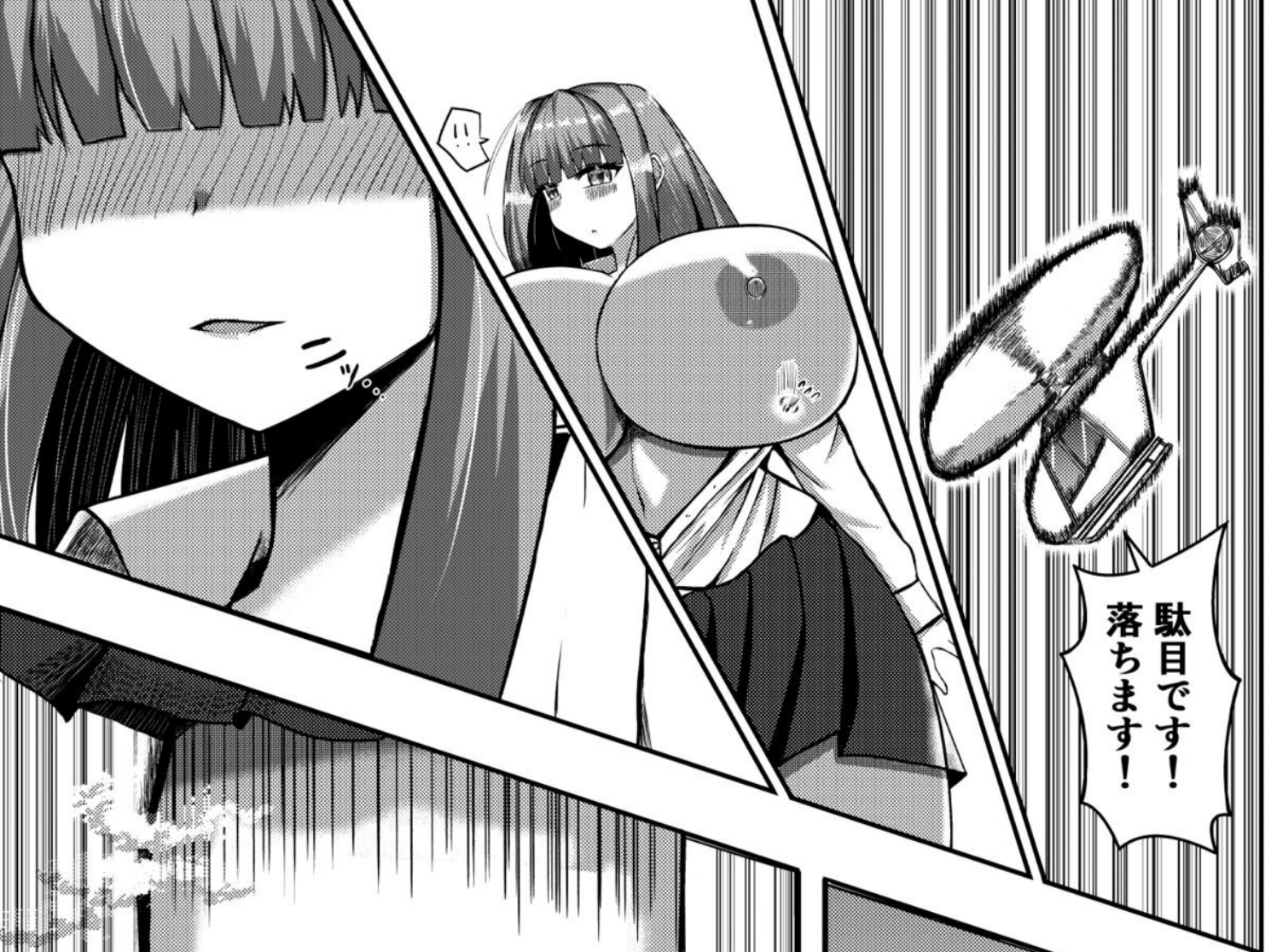


む、無理です!

お、おいっ!!  
なんとか  
制御できんのか!?

胸を出した風圧だけで  
へりが制御不能だと...!?

信じられん!!







!

は、博士！  
これは……っ

うろたえるな！  
わしらを助けた  
だけじゃ！



は？

誰ですか？  
邪魔なんですけど



ロイ

用があるのは  
博士だけですの

申し訳ありませんが  
いなくなつて下さい

うわあああああ！

ビュウウウウ

あれ、博士もいない…  
どこ行ったんですか？

プルン

二

無事で良かったです、博士

今の博士にとっては  
こんな事でも命に関わる  
のを忘れてましたあ

能力の目覚めで  
精神が不安定になっているのか...?  
以前とまるで別人じゃ...?



わしも潰され  
かねん...



私が膝を着いた時  
怪獣さんびっくりして  
気絶しちゃったみたいです

なので退治するのはもう少し  
後でもいいですよね...?



...ねえ

博士



博士が気になっている  
私の身体秘密…

もっと近くで  
見てみませんか？





逃げ

〜

そんなに必死で…



!



クエッ  
クエッ  
クエッ

!?

私のおっぱいの上から  
どこに逃げるつもり  
ですか？

ゴクッ



惜しいお：  
本当に惜しい！！

ハア：  
ハア：



これほどの  
素質がありながら

力を制御できん  
とは…！！



あーん

これでは  
怪獣以上の  
脅威になー

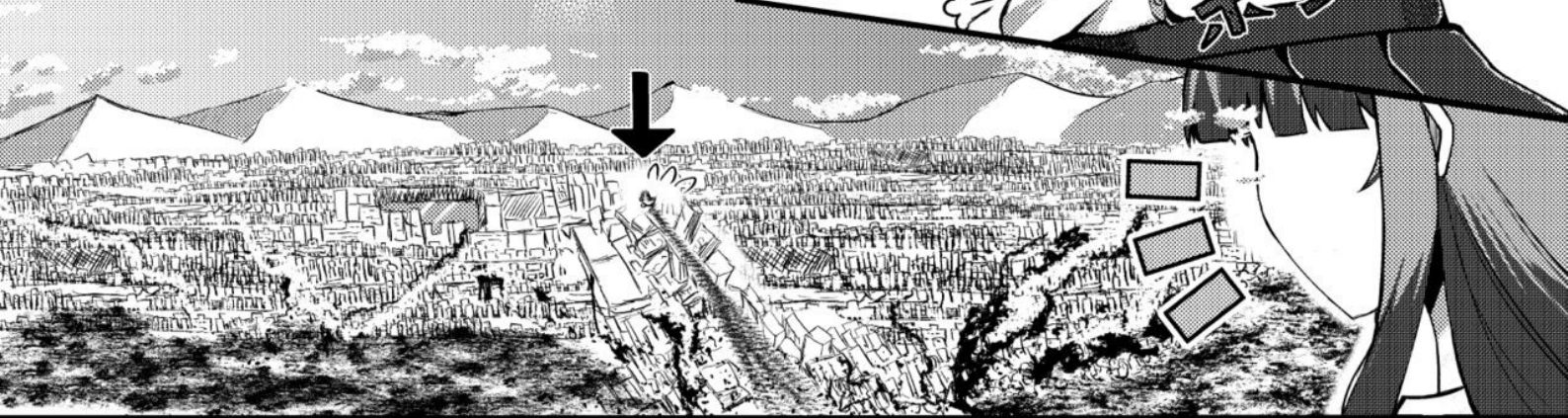


あとは怪獣くん  
ですけど、  
たしかそのあたりに...



もうどれだけうるさくしても  
聞こえないですね♡

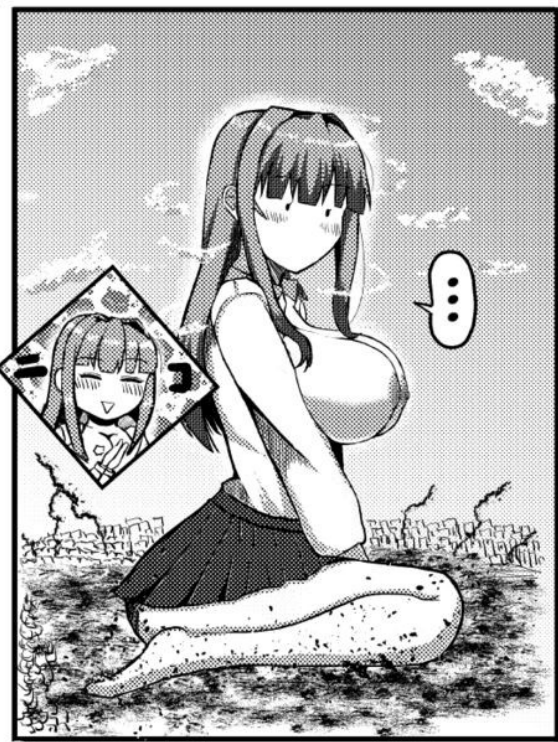
ふふ...  
博士を食べちゃいました

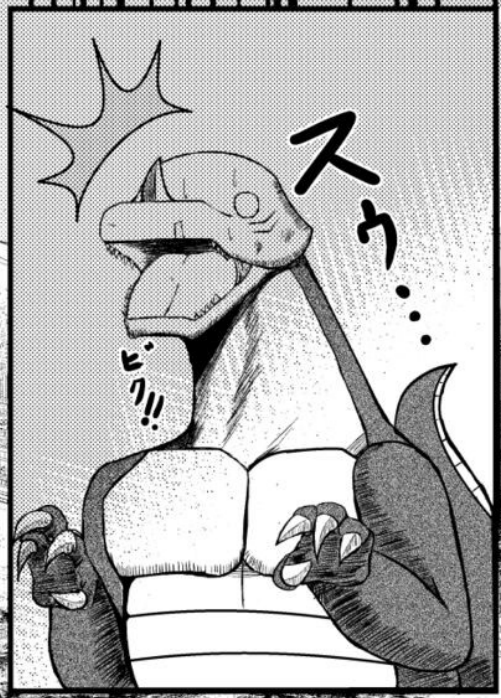


ふふ...  
随分と遠くに...



...そんなとこに  
いたんですね





!!?



どー行くの怪獣くん？

もっとお姉さんと遊んでよ



逃げちゃ  
だーめ♡

お姉さん君に  
慰めてほしくってえ

楽しみに  
してたの♡

ドドン!!

!?





思いっきり  
お願い…!

早く…!  
そこが弱点だから…

ユザ♡

グググ  
グググ  
グググ

ゴオオオ



凄い…♡  
こんなに  
気持ちいいんだ…



街を破壊する  
だけあって  
パンツ越しでも  
しっかり感じる

小さくても  
さすが怪獣くん  
ですね♡



直に中で感じられたら…??

でもまだ物足りない…  
もしこれがパンツ越しじゃなくて

スリッ

怪獣くんのおかげで  
お姉さんのこころ…  
びしょびしょだよ♡

罰として  
お姉さんの膣内<sup>なか</sup>で  
ご奉仕してもらおうね♡

はぁ

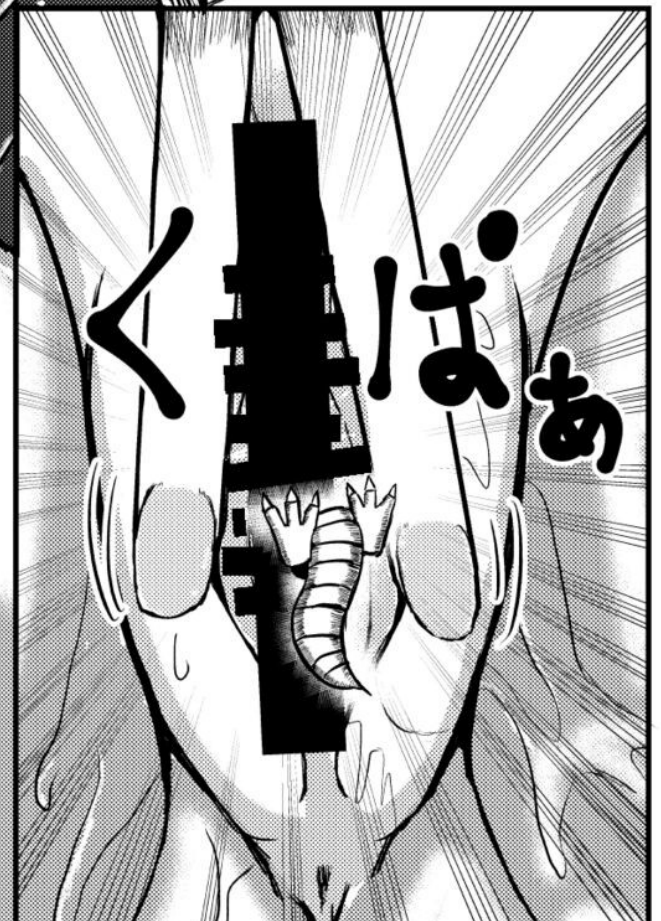
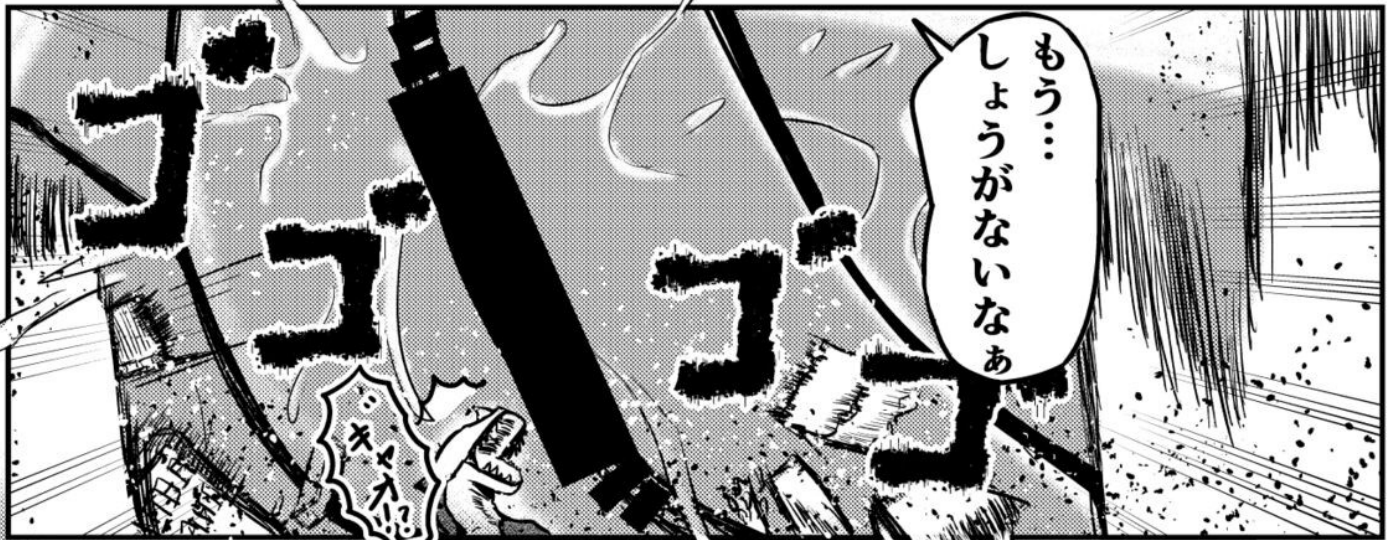
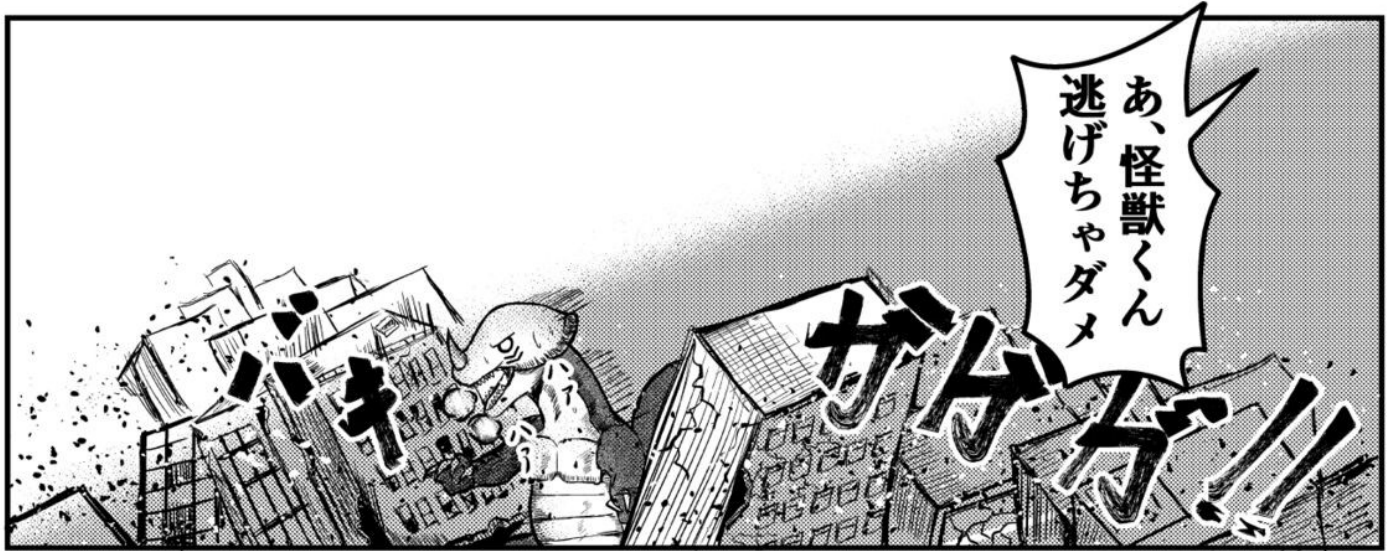
ポタ…

ポタ…

ズシッ

ズシッ

キョオ!!!





キユ♡

キユ♡

E ク!

ク

ク

ク

ク

ク



はは...は...



気持ちいい...  
けど...



怪獣くんよりも...♡

私と同じ超人薬を飲んだ三人...  
みんなならきつと...

モ...

〇つづく...



あ~~~~~  
すっごく気持ちよかつた~~~~~

なんかおっぱいも大きくなった  
気がする...  
気持ちよくなるとおっぱいって  
大きくなるんだ~~~~~

怪獣くんもつぶれちゃつてこれ以上私を  
気持ちよくしてくれる存在なんて...

oooooooooooooる。

街もや...

# あとがき

ここまで読んでいただき、ありがとうございます！

初の同人誌と言う事で、完成した今も緊張しっぱなしです汗

この話は、Twitterのマシュマロで頂いたお題を膨らませた内容です。

楽しんで頂けたでしょうか。

今作の終わり方を見て頂ければ分かる通り、彼女の快樂追求には続きがあります。  
もし本作を気に入って頂けましたら、よろしければ次回作でも手に取って頂けると幸いです。それでは！

ポッター・L

